

臨時列車日和®

中二 C 西山 勝貴

☆始めに☆

皆さん、こんにちは。駐車場の初執筆となります西山（中二）です。今回は、富山に帰省する際に SL 列車を利用したほか、日本一のもぐら駅を通ったため、それを記そうと考えました。

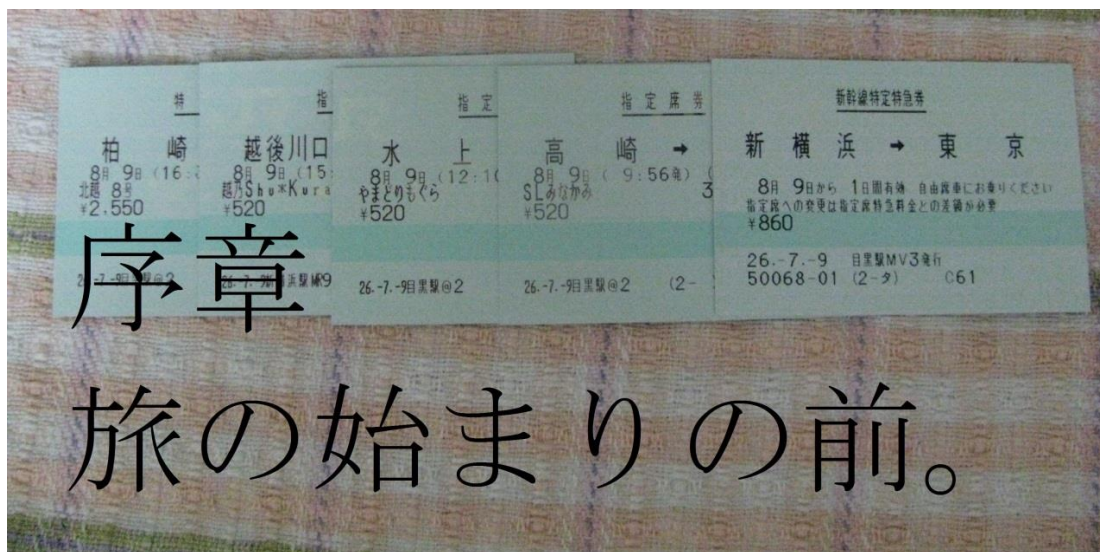


写真 7月9日に取った指定席券、特急券。

早速だが、日時は7月9日、旅行に行く1か月前である。なぜ1か月前のことを書くかというと、「1か月前」で気づく人もいるかも知れないが、JRの指定席券は旅行日の1か月前から発売されるのだ。そう、私が指定席券を買いに行った日なのだ。

「わざわざ1か月前に買う必要なんてないだろう。」と思う人もいるかも知れないが、今回乗る列車のほとんどはとても人気で、1か月前に買わないと売り切れてしまうものもある。特に、越乃 Shu*Kura は、一般客の席が36個しかないの（他の席はびゅうツアー旅行客専用）、発売と同時に買わないと絶対に売り切れて買えなくなってしまう。しかし、この日は期末考査の日、あいにく10時（1か月後の指定席券が発売される時間）が空いていない。仕方がないので、この指定席券だけは親に買ってもらい、他の指定席券や特急券は自分で買った。親から越乃 Shu*Kura の指定席券が取れたとのメールが届いたとき、喜びのあまり目黒線の車内で発狂してしまいそうになった。

また、新幹線の自由席特急券は窓口で買い忘れて、自動券売機で買った。

旅の1か月前にはこんな苦労する出来事があったのだ。（本当に苦労したのか？）



いきなりネガティブな題名で始まって申し訳ない

旅の当日の朝、母に新横浜まで送ってもらった。今回乗る新幹線は自由席なので座席が取れるか心配で、新横浜のホームに来たのは乗る予定の列車が来る 35 分前になってしまった。(大体 6 年前に新幹線の自由席を使ったら混んでいて母が立っていた記憶がある。) ちなみに、乗る予定の列車は上り新幹線の初電なので、私の立っているホームには回送列車しか来なかった。

反対側のホームに来る列車を撮影していたら目的の列車が来たので乗り込んだ。心配していた席取りだが、車内は意外と空いていてほっとした。

しばらくの間新幹線でおとなしくしていたら、品川のあたりにさしかかっていた。すると…

なんだ！？品川に黄色い列車？西武線なんて品川まで来ないし…

よく見たら京急の「イエローハッピートレイン」だった。ドアの部分だけ銀色なので本当に一瞬西武の列車に見えた。なるほど、イエローハッピートレインか。今日はいいことが起こりそうだなあ、と思いながら。

東京に着き京浜東北線に乗り換えて上野まで行った。上野で降りて高崎線のホームの 14 番線へ行くのだが、ここで嫌なお知らせが電光掲示板に…

[JR 宇都宮線は一部列車に遅れが出ております。振替輸送を実施しています。]

なんてことだ、高崎線と深い関係がある宇都宮線が遅れているのだ。イエローハッピートレインを見た 20 分後にごらんの有様だよ。

気を取り直して普通列車用のグリーン券売機でグリーン券情報を私の Suica に記録した後、普通列車のグリーン車も自由席なので、席を取るために早めに乗車。だが、車内はがらがらであった。これが私の席取りの運の良さである。6、7、8 月の目黒線の着席率が 100%の私の実力である。

車両はE233系3000番台で、乗り心地はなかなかのものだった。

心配していた宇都宮線の遅延だが、高崎線にはほとんど影響が無く定時で走っていたのでほっとした。電池を気にして新幹線の中ではやらなかった3DS(マリオカート7)をやってゆっくりしていたら、籠原で前5両を切り離すとの放送があったので、それをムービーで撮った。そしてまた高崎までゆっくりした。



👉 SLみなかみの車内 👈

気が付くと、高崎駅に着いていた。

隣のホームには…



黒い煙をあげる黒い機関車「デゴイチ (D51)」！

これまで何度か乗ったことのあるSL列車だが、いつみても楽しい。今回乗るのは「SLみなかみ号」の水上行きである。この列車は、もちろん子供たちに大人気で、家族連れの人が多かった。ちなみに、私は3歳くらいの男児を連れて家族3人との相席だった。その子の左手にはD51のプラレールが。なるほど、これが今の子鉄^{*1}のSLの楽しみ方か。(?) SLはしばらくすると大きな汽笛を鳴らして高崎駅を発車した。

しばらくICレコーダーで音楽を聴いていたら沿線から手を振ってくれる人が見えてき

た。今年の春の鉄研旅行で「手を振ってくれた人には手を振りかえす事が礼儀！」と教えてもらった記憶があるが、今回は知らない人たちとの相席。とてもそんなことはできない。

そして列車は渋川に到着。ここでは30分くらい停車する。SLの撮影のところは混んでいた所以我は反対側に来る列車を撮影するためにホームの先端付近でカメラを構えていた。しばらくすると、



水上行きの普通列車 (ここ大事) がきて



駅に止まったら、



「快速扱いのSLみなかみを置き去りにしていった！」

快速にもかかわらず、普通列車に抜かれるSL列車だが、そこを突っ込んだらJR東日本がかわいそうなので、もうこの話題には触れないとしよう。

その後、「SL歓迎」とばかりにアイスを売るテントがあったので、そこで抹茶アイスを買ってSLに戻った。しばらくして、SLは水上へ向けて再び動き出した。そういえば相席の家族が戻ってこない。渋川で降りたのかな？

しばらくしたら列車は水上駅に進入はじめていた。ホームに降りると…

寒いっ！！ さすが関東の避暑地。

だが、こんなのは群馬の寒さの序の口に過ぎなかった。

第三章 まるで真冬のランニング



👉 土合駅の階段 👈

駅に降り立った客たちは急ぎ足で階段を上がっていく。私は人の流れに乗って進んでいくと、



👉 「臨時」と表示している。

見慣れぬ列車があった。この列車は485系のジョイフルトレイン「リゾートやまどり」を使用した臨時快速列車「やまどりもぐら」号である。普段は「リゾートやまどり」号として吾妻線を通り万座・鹿沢口の方に行っているのが、新潟県に行くことは多くないが、この列車は越後湯沢行、つまり新潟県に入る列車なのだ。

さあ乗るぞと車内に入り、指定席券を確認して私が乗る号車へ向かう。この「リゾートやまどり」はグリーン車の座席を転用して普通車の座席にしているので、座り心地がとて面白い。それにしても、いつまでも発車しないなあ。ここで車内放送が。

「SLからのお乗換えのお客様を待ちましての発車となります、発車が3分ほど遅れる見込みです。車内でお待ちください。」

乗り換えの客を待つのはやさしいことだが、ダイヤを乱してまでそんなことをする必要があるのであるだろうか…

と知っている間に列車は水上を出発していた。ここでまた車内放送が。

「この列車は速度を 45km/h に落として運転いたします。ご了承ください。」

時刻表を見て気づいたのだが、この列車は駅をそれなりに通過するのに水上～越後湯沢の所要時間が普通列車の 2 倍なのだ。なるほど、そういうことだったのか。

列車はとある駅に到着した。そう、この駅こそ…



日本一のもぐら駅、土合駅なのだ。実は私は先輩からこんなメールを受け取っていたのだ。

(以下メール本文、一部改変)

I ドア付近に待機

II-1 ドアが開いたら

- ①ダッシュで土合の 486 段の階段かけ上がる
- ②改札出て山の空気吸ってくる
- ③そして上のホームを見る
- ④時刻表を見る
- ⑤486 段をかけ降りる
- ⑥発車 5 分前に列車に乗り込め！
- ⑦土合駅に敬礼&会釈

(終了)

これは上るしかない。この前の農工芸体験学習の時は 6 分で上りきったから記録を更新しよう。そして、扉が開いた。私は列車を駆け下りた。すると…

ぎやああああー寒いいいい！！

これではまるで真冬じゃないか。水上駅よりもはるかに寒い。まあ体を動かせば暖かくなるだろう。さあ上るぜ！

本気でダッシュして 200 段目まで到達した。ここからは脚力というよりは体力との勝負になってくる。この時点で上り始めてからはまだ 2 分程度しか経っておらず、少し息苦しくなってきたのでペースを落とす。300 段目に到達したのは上り始めてから 4 分が経っていた時だった。少しペースを落とすすぎたと感じ、息苦しさも半減したのでラストスパート！そして…



ゴール！ 記録 5分47秒 更新！！

「さあ、ゆっくりしよう」と言いたいところだが、発車まであと12分程度。時間的にはそんな余裕などない。酸欠でめまいを感じながら改札を出て景色を眺める。まあ農工芸体験学習のときにも見たのだが。それにしても走ったのにもかかわらず寒い。さすが土合駅。ちなみに土合駅の観光目的でここに来る人がいるためかどうかは知らないが駅前に大きな駐車場があった。

上のホームを見て、時刻表に目を移すと、

土合駅発車時刻表	
下り(長岡方面) for Nagaoka	上り(高崎方面) for Takasaki
	5
	6 水 上 水上で6:53高崎行に接続
	7
長岡 34	8 39 水 上 水上で8:57高崎行に接続
長岡 56	9
	10
	11
	12 26 水 上 水上で12:56高崎行に接続
長岡 50	13
	14
	15 31 水 上 水上で15:53高崎行に接続
	16
長岡 52	17
	18 21 水 上 水上で18:37高崎行に接続
	19
45	20
	21
	22
	23

記事

平成26年3月15日改正

本数がとても少なかった。計算したところ、毎時約0.208本、4時間48分に1本しか列車が来ないことになる。

さあ駆け下りますか。農工芸体験学習の時は6分で駆け下りたので、記録更新を目指す。下りは体力をあまり使わないので、本気でダッシュしつつ転ばないようにすればいいので、割と楽しかった。記録は4分57秒とけっこう良い記録だった。駅名標を撮って列車に戻っ

たが、暑くてしょうがない。土合駅の気温に慣れてしまったからだろうか。そして列車は土合駅を後にした。さっき本気でダッシュしたせいか乾いた咳が止まらない。そして列車は越後湯沢に到着。



第四章 早く大人になりたい

👉 越乃 Shu*Kura で食べた「味噌ジェラート」 👈

ホームに降りたら、越後湯沢で食べたい駅弁があったのでそれを買う。その駅弁とは川岳軒の「いくらたらこめし」である。聞いた感じ美味しそうであり、口コミでも好評だったので、これを買うことにしていた。先ほどの「やまどりもぐら」が特急「はくたか」と並んだのでそれを撮り、その駅弁を買って、ほくほく線の列車に乗り換えた。私は3セク^{※2}にしてはなかなか性能のよい列車が走っていることに驚いた。次に降りる十日町までほくほく線の普通列車がいくつか駅を通過する。普通列車なのに駅をとばす…あまりイメージがわからない。

私は十日町に着いたのち、待合室に行って、駅弁を食べた。さすが新潟の弁当、米がうまい（もちろんたらこやいくらも美味かった）。約10分後に完食。余談だが、私はとても大食いである。旅行後の某日に中華料理屋に行った際、私は大盛りラーメンと半チャーハン二つと小籠包二つを食べたのだ。なので、駅弁を食べた後も空腹である。ほかに食べるものがないか十日町の駅周辺をぶらぶら歩きながら探していると、スーパーを発見した。そこでおにぎりなどを購入しようとしたが、やめておいた。スーパーの近くに図書館があったのでそこに寄ったところ、なぜか小学生であふれ返っていた。どうやら夏休みの宿題をしに来ていたり自由研究のテーマを決めたりしているようだ。みんなえらいですな。

長岡からは新潟支社^{※3}の115系に乗って越後川口に行った。そこから今年に誕生した越乃 Shu*Kura に乗って柏崎を目指すのだが、駅にこんなものが。



新潟支社張り切っているなあ。春には武蔵小杉駅にでかでかと越乃 Shu*Kura のポスターが貼ってあったので新潟支社の越乃 Shu*Kura へのこだわりは大きいに違いない。しばらくして、越乃 Shu*Kura が来た。



この列車は「酒」をテーマとしてデビューした車両である。それを分かったうえで車内に入ると、案の定、中年の人がたくさんいた。しかし私は中二、なので周りの大人達からの目線は当然冷たかった（まあ家族連れもいたけれど）。目線を気にしていたら旅が楽しくなくなるので、とりあえず気にせず2号車のバーカウンターへ行った。メニューを見ると、酒、酒、酒、おつまみ、酒…うん！

とある物に目が留まった。そう、そのものこそ題名の写真にあった「味噌ジェラート」だ。こんなもの初耳だ。私は好奇心のあまりにそれを買ってしまった。そして席に戻る。買ったのはいいけれど果たして味の方は？いただきます…。

うまいっ！これぞ和風のジェラートだ！甘みがあるのに、味噌の旨味と塩味もしっかりしていて、香りもいい。日本に生まれてよかったあ！

列車が宮内あたりを通過したときに友人からメールが来た。

「お土産よろしく～」

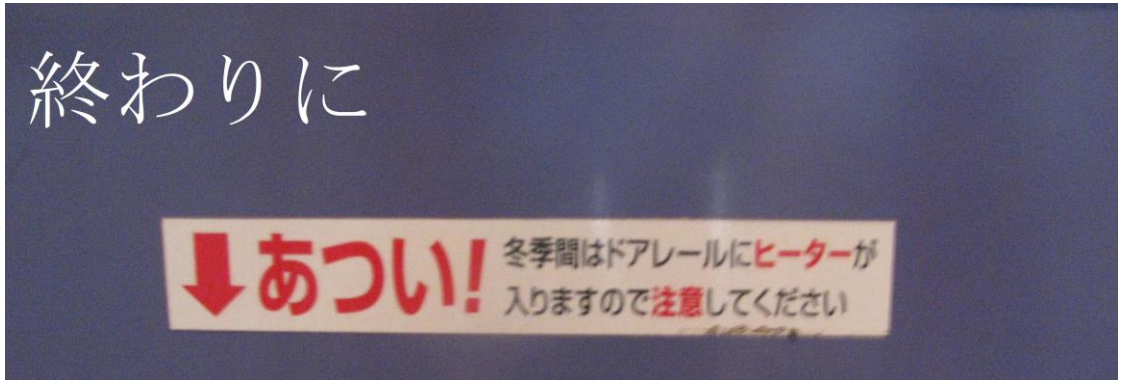
まったく、誰かが旅行に行くときとすぐにこうなる。呆れたものだ(人のことは言えないが)。そして、列車は柏崎に着いた。しばらくすると、特急北越8号が来た。



485系特急北越8号

眠かったが、北陸新幹線の開通により見られなくなる JR 東日本と JR 西日本の乗務員交代を直江津で見るために起きておかなければならない。そして、列車は直江津に着いた。そこで乗務員の交代を見るのだが、よく見ると東日本と西日本でワイシャツの色が違う。いい発見だな。そして車内へもどった私だが、もう眠気を我慢する必要がなくなったので、私はすぐに寝た。そして魚津で降りて祖母の車に乗って祖母の家にたどり着いた。

～The end～



📍新潟支社の列車によく貼ってあるステッカー📍

初執筆ということもあり、慣れない文章でしたが、その文章に付き合ってくださいました読者様に感謝しております。改行がやたらと多かったりと自分でもわかるほど作文力がない私ですが、また旅行する機会があったら停車場に載せるつもりですので、これからもよろしくお願いします。

あと最後にひとつ言わせていただくと、水上は本当に涼しいです。というよりは寒いです。夏に訪れてはいかががでしょうか？

～～解説～～

- ※1→子供の鉄道ファン。
- ※2→第三セクターの略語。
- ※3→JR 東日本新潟支社。

～～参考文献～～

<http://gurutabi.gnavi.co.jp/gourmet/item/6743/>
<http://ekiben.sakura.ne.jp/yuzawa-and-naoetsu.html>
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AA%E3%82%BE%E3%83%BC%E3%83%88%E3%82%84%E3%81%BE%E3%81%A9%E3%82%8A>